2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月６日

上場会社名　　帝国繊維株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　3302　　ＵＲＬ　https://www.teisen.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役会長執行役員　　（氏名）白岩　強
問合せ先責任者　（役職名）取締役副社長執行役員　　（氏名）岡村　建　　ＴＥＬ　03（3281）3022

配当支払開始予定日　　－
決算補足説明資料作成の有無：　無
決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	28,752	18.3	3,640	29.5	5,088	27.2	3,505	25.8
2025年12月期第３四半期	24,303	9.6	2,812	37.6	3,999	29.6	2,785	27.4

（注）包括利益　2026年12月期第３四半期　3,771百万円（△37.1%）　2025年12月期第３四半期　5,992百万円（162.1%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	136.84	136.08
2025年12月期第３四半期	108.06	107.44

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年12月期第３四半期	92,400	74,534	80.5	2,909.97
2025年12月期	91,343	72,388	79.1	2,821.33

（参考）自己資本　2026年12月期第３四半期　74,375百万円　2025年12月期　72,229百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	－	0.00	－	55.00	55.00
2026年12月期	－	0.00	－		
2026年12月期（予想）				65.00	65.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,500	14.4	5,000	23.3	6,400	20.6	4,400	17.6	171.77

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　有

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	27,584,400株	2025年12月期	27,584,400株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	2,025,565株	2025年12月期	1,983,052株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	25,615,999株	2025年12月期３Ｑ	25,781,064株

※当社は、業績連動型株式報酬制度を導入しており、株式給付信託に残存する当社株式を、期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数に含めております。

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料３ページ「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記） …… 8
（会計方針の変更に関する注記） …… 8
（会計上の見積りの変更に関する注記） …… 8
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 9

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や設備投資、雇用環境には改善の動きがみられるものの、物価上昇は依然として続いており、長年続いた低金利環境からの転換が進んでおります。中東情勢の緊迫化による原油価格や物流コストの上昇、為替変動リスク等も収束の兆しを見いだせず、経済の先行きについては不透明な状況が続いております。

当社グループでは、2023年度より今後10年間に亘る取り組みを通じて防災業界におけるリーディングカンパニーへの進化を目指す「テイセン未来創造計画」を策定し、スタートしております。同計画では、「人を創る」「仕事を創る」「企業文化を創る」をテーマに掲げ、「防災のテイセン」としての未来を切り拓き世界に通用する防災企業として、名実ともに社会及びステークホルダーの皆様から絶対的な信認を頂くことを目指しております。

2026年度から2028年度における新中期経営計画「テイセン2028」では、第１フェーズである前中期経営計画「テイセン2025／未来への基盤づくり」での成果をもとに、当社グループが「成長・発展」に向かうための第２フェーズとして、

『先進的防災事業を確立し、安心安全な未来を創る』

ことをミッションとして掲げ、その実現に向け以下に掲げた戦略テーマの達成を目指し、着実な収益拡大と企業価値の向上に取組んでまいります。

１．市場創造と圧倒的市場競争力の確立
（１）自治体・コンビナート・原子力向け送排水ビジネスの拡大
（２）セキュリティビジネスのマーケット開拓
（３）次世代型防災特殊車輌マーケットの創造
（４）基盤事業（ホース・機材・車輌・消防被服）の拡大・発展
２．営業を支える下野・鹿沼工場の革新
（１）「製造拠点」から「技術集約拠点」への脱皮
〇技術・開発機能の強化
〇コスト・品質管理機能の強化と定着
〇教育・訓練・実証実験等の機能を備えた施設の充実
３．アライアンスによる収益機会の創出

当第３四半期連結累計期間では、売上高が287億５千２百万円（前年同期比18.3%増）、営業利益は36億４千万円（前年同期比29.5%増）、経常利益は50億８千８百万円（前年同期比27.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は35億５百万円（前年同期比25.8%増）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

なお、第１四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しております。以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析をしております。

防災・セキュリティ事業では、救助工作車などの防災車輌や総務省消防庁向けを中心とした救助資機材の売上が増加したことから、売上高は前年同期対比33億５百万円増加し、259億８千９百万円となりました。

防災分野においては、令和８年台風第25号、第26号及び前線の活発化による大雨に端を発した印旛沼の堤防決壊や千葉県各地の甚大な被害状況を見る如く、災害はこれまで以上に多発化・激甚化・多様化の様相を呈しております。政府は『「強く豊かな日本」投資枠』を活用し、大規模災害に備えた緊急援助隊の車輌・装備拡充など、これまで以上に公設消防体制の拡充を図る方針ですが、その中でも特に水害対策として、老朽化した排水機場の機能補完や能力強化が、喫緊の課題としてクローズアップされてきており、当社の移動式油圧排水ポンプシステムに対する国や自治体からのニーズが大きく高まってきております。

更に、原子力施設や石油コンビナート等産業インフラを支える事業所においても、地震・津波に対する対策のみならず、最近では水害への備えの必要性も強く認識されつつあり、大容量送排水システムの導入が急速に進みつつあります。

セキュリティ分野、中でも空港ビジネス分野においては、人手の確保が難しい中で年々増大する航空旅客に対し確実かつ効率的に検査を実施すべく、最新のセキュリティ機器の導入が進んでいます。また、いわゆるソフトターゲットと呼ばれるイベント会場やテーマパークなどでも、近年国内で可燃物や刃物を用いた事件が発生したことや、国際情勢の不安定化も相俟って、当社のセキュリティ機器へのニーズが益々拡大しております。

繊維事業では、受注済みのベトナム消防向け防火衣の売上が寄与し、売上高は前年同期対比11億３千８百万円増加し、23億５千４百万円となりました。当社は創業以来のリネン（麻）の特性を生かし、快適かつサステイナブルな製品の開発を進めるとともに、難燃・耐切創などの高機能繊維が有する特徴を生かした産業資材の用途開発、マーケット開

拓に引き続き取り組んでまいります。
　不動産賃貸事業は、概ね順調に推移しており、売上高は４億７百万円となりました。

（２）当四半期の財政状態の概況
　当第３四半期連結会計期間末の財政状態を概括いたしますと、総資産は、受取手形、売掛金及び契約資産や棚卸資産などが減少した一方で、現金及び預金や建設仮勘定が増加したことから、前連結会計年度末対比10億５千７百万円増加し、924億円となりました。
　負債は、買掛金が減少したことから、前連結会計年度末対比10億８千８百万円減少し、178億６千６百万円となりました。
　純資産は、利益剰余金が増加したことから、前連結会計年度末対比21億４千５百万円増加し、745億３千４百万円となりました。
　この結果、自己資本比率は80.5%となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明
　2026年12月期の連結業績予想については、2026年2月13日に公表いたしました連結業績予想を修正し、売上高及び営業利益以下の各段階利益を上方修正しております。
　詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,823,287	21,776,803
受取手形、売掛金及び契約資産	8,463,641	3,845,244
有価証券	4,998,770	993,805
商品及び製品	9,026,725	8,380,678
仕掛品	1,918,006	2,167,730
原材料及び貯蔵品	772,161	918,481
その他	3,041,910	2,290,956
流動資産合計	41,044,503	40,373,701
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,590,980	6,280,760
機械装置及び運搬具（純額）	758,064	615,265
工具、器具及び備品（純額）	347,041	341,137
土地	3,990,155	3,990,155
建設仮勘定	258,414	1,436,125
有形固定資産合計	11,944,656	12,663,445
無形固定資産	59,039	59,755
投資その他の資産		
投資有価証券	37,104,602	37,816,562
退職給付に係る資産	122,090	85,926
繰延税金資産	149,323	170,892
その他	919,672	1,230,680
投資その他の資産合計	38,295,689	39,304,062
固定資産合計	50,299,385	52,027,263
資産合計	91,343,888	92,400,965

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,905,138	2,258,117
１年内返済予定の長期借入金	44,000	23,000
未払法人税等	821,034	831,736
賞与引当金	－	330,993
その他	1,715,001	1,764,358
流動負債合計	6,485,174	5,208,205
固定負債		
長期借入金	12,000	－
長期預り保証金	341,944	296,329
繰延税金負債	10,668,814	10,674,390
退職給付に係る負債	137,385	152,909
役員株式給付引当金	832,699	1,057,639
資産除去債務	76,483	76,488
長期未払金	78,650	78,650
その他	322,137	322,137
固定負債合計	12,470,115	12,658,544
負債合計	18,955,289	17,866,750
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,689,882	1,689,882
資本剰余金	1,100,156	1,121,233
利益剰余金	48,411,105	50,477,497
自己株式	△2,589,034	△2,797,408
株主資本合計	48,612,110	50,491,204
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,381,428	23,868,925
繰延ヘッジ損益	236,303	15,328
その他の包括利益累計額合計	23,617,732	23,884,254
新株予約権	158,756	158,756
純資産合計	72,388,598	74,534,214
負債純資産合計	91,343,888	92,400,965

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上高	24,303,165	28,752,190
売上原価	17,429,275	20,631,312
売上総利益	6,873,890	8,120,878
販売費及び一般管理費	4,061,661	4,480,410
営業利益	2,812,228	3,640,468
営業外収益		
受取利息	18,938	29,769
受取配当金	1,130,143	1,422,486
持分法による投資利益	764	927
その他	44,265	13,676
営業外収益合計	1,194,112	1,466,859
営業外費用		
支払利息	3,093	3,339
為替差損	2,100	－
支払手数料	1,351	－
支払解決金	－	15,000
その他	317	849
営業外費用合計	6,864	19,188
経常利益	3,999,477	5,088,139
特別利益		
固定資産売却益	579	143
特別利益合計	579	143
特別損失		
固定資産処分損	1,803	1,009
会員権処分損	172	－
特別損失合計	1,976	1,009
税金等調整前四半期純利益	3,998,080	5,087,273
法人税、住民税及び事業税	1,288,221	1,724,845
法人税等調整額	△76,058	△142,953
法人税等合計	1,212,163	1,581,891
四半期純利益	2,785,917	3,505,381
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,785,917	3,505,381

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
四半期純利益	2,785,917	3,505,381
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,155,033	487,497
繰延ヘッジ損益	51,543	△220,975
その他の包括利益合計	3,206,577	266,522
四半期包括利益	5,992,495	3,771,904
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,992,495	3,771,904

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更に関する注記）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	547,477千円	547,804千円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　2025年１月１日　至　2025年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	防災・セキュリティ	繊維	不動産賃貸	計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
売上高						
官公庁	8,538,586	80	－	8,538,666	－	8,538,666
その他	14,145,524	1,216,228	－	15,361,753	－	15,361,753
顧客との契約から生じる収益	22,684,111	1,216,308	－	23,900,419	－	23,900,419
その他の収益	－	－	402,745	402,745	－	402,745
外部顧客への売上高	22,684,111	1,216,308	402,745	24,303,165	－	24,303,165
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,853	566,532	－	568,385	△568,385	－
計	22,685,964	1,782,841	402,745	24,871,551	△568,385	24,303,165
セグメント利益	3,594,140	225,322	302,993	4,122,456	△1,310,228	2,812,228

（注）１．セグメント利益の調整額△1,310,228千円には、セグメント間取引消去61千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,310,290千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　2026年１月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	防災・セキュリティ	繊維	不動産賃貸	計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
売上高						
官公庁	11,442,193	－	－	11,442,193	－	11,442,193
その他	14,547,569	2,354,696	－	16,902,265	－	16,902,265
顧客との契約から生じる収益	25,989,763	2,354,696	－	28,344,459	－	28,344,459
その他の収益	－	－	407,731	407,731	－	407,731
外部顧客への売上高	25,989,763	2,354,696	407,731	28,752,190	－	28,752,190
セグメント間の内部売上高又は振替高	60,589	349,736	－	410,326	△410,326	－
計	26,050,353	2,704,432	407,731	29,162,516	△410,326	28,752,190
セグメント利益	4,167,909	562,407	303,170	5,033,487	△1,393,019	3,640,468

（注）１．セグメント利益の調整額△1,393,019千円には、セグメント間取引消去△517千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,392,501千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

2026年度より新中期経営計画「テイセン2028」をスタートさせたこと及び近年の組織体制の見直しを踏まえ、マネジメント・アプローチの観点から経営資源の配分及び業績管理を適切に実施し、事業活動の実態をより正確に表すために、第１四半期連結会計期間より「繊維」における防災用途向け製品の一部を「防災・セキュリティ」と扱うなど事業区分の見直しを行ったほか、一部の共通費の配賦方法の見直しを行っています。

なお、近年のセキュリティビジネスの拡大に伴い、「防災」を「防災・セキュリティ」に改称しております。

当該変更に伴い、前第３四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。